

伊豆シャボテン動物公園

動物たちのベビーラッシュ!

～ アカハナグマ、ワオキツネザル、ミーアキャット、パルマワラビー、マーラ、
インドクジャク、アカツクシガモ、カピバラ～

2020 年 7 月 9 日

株式会社伊豆シャボテン公園

動物たちのベビーラッシュ!!
2020 SUMMER

1 アカハナグマ 5/6 3頭誕生	2 ワオキツネザル 5/13 1頭誕生
3 ミーアキャット 5/15 5頭誕生	4 パルマワラビー 5月～ 3頭誕生
5 マーラ 5月～ 14頭誕生	6 インドクジャク 13羽誕生
7 アカツクシガモ 6羽誕生	8 カピバラ 7/5 1頭誕生

伊豆シャボテン動物公園では、動物たちのベビーラッシュが到来しました。新たに誕生した動物の赤ちゃんは、アカハナグマ、ワオキツネザル、ミーアキャット、パルマワラビー、マーラ、インドクジャク、アカツクシガモ、カピバラなどです。

赤ちゃんたちは、母親のおっぱいを飲んだり兄弟とじゃれあったりとすくすくと成長しています。お母さんの後についてちょこちょこと歩きまわる愛らしい姿や家族の仲睦まじい様子は、園内各所にて見るすることができます。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115（代） URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4

伊豆シャボテン動物公園
グループに友達登録して
お得な情報をゲット!
LINE@
お友達募集中!





＜場所＞ レッサーバンダ館

アカハナグマ

- 【英名】 Ringtailed coati
 【学名】 *Nasua nasua*
 【分類】 食肉目 アライグマ科 ハナグマ属
 【分布】 南アメリカの高地の森林から低地の草原など
 【形態】 体長：45～65cm、尾長：40～65cm、体重：2～6kg
 【生態】 アナグマに似ていますがアライグマの仲間で、木登りがうまく縞模様の長い尾でバランスをとり、樹上でも活発に動き回ります。
 食性は雑食で昆虫、小動物、果物などを食べています。妊娠期間は 75 日ほどで、出産期のメスは群れから離れたところで通常 2～4 子を出産します。

【当園のアカハナグマ】 2020 年 5 月 6 日(水)、父「ベン」と母「レナ」の間に 3 頭の赤ちゃんが誕生しました。当園のアカハナグマはこの他にシャボテン温室通路の展示場に 4 頭が暮らしており、今回の繁殖により合計 9 頭となりました。

【最近のアカハナグマの赤ちゃんの様子】 母親の後をついて動きまわったり、親と同じものを食べはじめたりと順調に成長しています。とても好奇心旺盛で、活発に動き回る姿を見ることができます。



＜場所＞ アニマルポート ワオキツネザルの島

ワオキツネザル

- 【英名】 Ring-tailed lemur 【学名】 *Lemur catta*
 【分類】 霊長目 キツネザル科
 【分布】 マダガスカル島南部
 【形態】 頭胴長：約 42cm、尾長：約 60cm、体重：2～3kg
 【生態】 メスが優位の 20 頭近くの群れを作り、主に樹上で生活しています。食性は木の実・果実・昆虫などを食べる雑食性です。繁殖期は 4～5 月で妊娠期間は約 135 日、一度に 1～2 頭の子供を出産します。赤ちゃんは生後 2～3 週間ほどで母親の背に乗るようになり、1 ヶ月ほどで大人と同じものを口にします。身体的に最も特徴のある長い尾は、黒と白の帯が交互に重なり輪状に見えることから輪尾(ワオ)キツネザルと呼ばれています。

【当園のワオキツネザル】 2020 年 5 月 13 日(水)に母「あんじゅ」が 1 頭の赤ちゃんを出産しました。当園のワオキツネザルは今回の繁殖により合計 36 頭となりました。

【最近のワオキツネザルの赤ちゃんの様子】 普段は母親の背中にしがみついて生活していますが、最近では時おり母親から離れて一人遊びができるようになってきました。



＜場所＞ アニマルポート沿岸 ミーアキャット展示場

ミーアキャット

- 【英名】 Meerkat 【学名】 *Suricata suricatta*
 【分類】 食肉目 マングース科
 【分布】 アフリカ南部
 【形態】 体長：25～31cm、体重：700～1000g
 【生態】 体毛は褐色から灰色で、背部には暗褐色の横縞模様があります。地下に巣穴を掘り、10 頭以上の群れを形成する社会性のある動物です。他のマングースの仲間とは異なり昼行性で、後肢と尾を使って直立して日光浴をします。この姿勢はあたりの様子を警戒するためでもあり、採食中の群れの中には必ず見張りを務める個体があります。食性は動物食性で、主に昆虫や小鳥、トカゲなどを食べます。

【当園のミーアキャット】 2020 年 5 月 15 日(金)、5 頭の赤ちゃんが誕生しました。当園のミーアキャットはこの他に「カピバラ虹の広場」隣の展示場に 12 頭が暮らしており、今回の繁殖により合計 31 頭となりました。

【最近のミーアキャットの赤ちゃんの様子】 普段は巣箱の中で暮らしていますが、天気が良い日は巣箱を開放すると子供たちが元気に走り回ることがあります。外に出ている時は、大人のミーアキャットたちが子供に危険がないか立ち上がって見張りをしたり、一緒に日光浴をしたりしています。



＜場所＞ カンガルーの丘

パルマワラビー

- 【英名】 Parma Wallaby
 【学名】 *Macropus parma*
 【分類】 有袋目 カンガルー科 ワラビー属
 【分布】 オーストラリア南部、バス海峡のキニグ島と他の小島、タスマニア
 【形態】 頭胴長：45～50cm、尾長：45～48cm、体重：4～5kg
 【生態】 森林地帯で単独もしくは少数の群れを作り生活をしている夜行性の動物です。妊娠期間は約 30 日で、1 回の出産で 1 頭を出産します。生まれたての赤ちゃんは毛もなく目も見えず、1～2cm の未熟な状態で母親の腹部の道を通って育児嚢に入ります。生後約 6 ヶ月で袋から顔を出すようになり、授乳は生後約 1 年続きます。

【当園のパルマワラビー】 2020 年 5 月に赤ちゃん 3 頭が誕生(※)し、当園のパルマワラビーは今回の繁殖により合計 53 頭となりました。 ※有袋類は非常に未熟な状態で生まれるため、当園では、赤ちゃんが袋から出た姿を初めて観察した日を「誕生」としています。

【最近のパルマワラビーの赤ちゃんの様子】 袋から外に出はじめ、とても好奇心旺盛で人にも近寄ってくる様子が見られます。時々母親の袋に顔を入れ授乳をしますが、運がよければこの微笑ましいシーンを見ることができます。



＜場所＞ 太陽の広場前 展示場

マーラ

- 【英名】 Mara 【学名】 *Dolichotis*
 【分類】 げっ歯目 テンジクネズミ科
 【分布】 南アメリカ(アルゼンチンなど)
 【形態】 体長：60～70cm、体重：7～9kg
 【生態】 草原や岩の多い荒れ地で数十頭の群れを形成して暮らしており、食性は草食性です。当園では、キャベツ・にんじん・リンゴ・サツマイモ・パン・小松菜などを与えています。野生下では一夫一妻制で、繁殖期には大きな集団を作り、それぞれの子供たちを共通の巣穴で育てます。一度の出産で 1～3 頭の赤ちゃんが生まれ、生後 4 ヶ月くらいまで授乳をします。

【当園のマーラ】 2020 年 5 月から出産シーズンが始まり、14 頭の赤ちゃんが誕生しました。当園のマーラは、この他になかよし牧場に 29 頭が暮らしており、今回の繁殖により合計 79 頭となりました。

【最近のマーラの赤ちゃんの様子】 母親や他の個体の真似をして、いろいろなことを覚えている様子が見られます。



＜場所＞ バードパラダイスほか 園内各所

インドクジャク

- 【英名】 Indian Pea-fowl 【学名】 *Pavo cristatus*
 【分類】 キジ目 キジ科 【分布】 インド、スリランカの草原
 【形態】 体長：約 110cm、尾長：約 50cm、体重：3～5kg
 【生態】 昼行性で、昼の間は穀類・木の芽や実・草の葉・昆虫などを盛んに食べ、夜間は孵化したばかりの雛たちも親鳥と一緒に樹上で就寝します。3～7 月頃に繁殖期を迎え、飾り羽を広げて求愛行動をするとともに他のオスに対してはテリトリーを守る行動をします。150 本ほどある飾り羽(上尾筒＝じょうびとう)は、繁殖期が終わる 7 月下旬～8 月にはすべて抜け落ち、テリトリー争いも終了します。メスは一度に 4～7 個の卵を産み、抱卵機関約 28 日で孵化。雛は 3 年目で成鳥となり、オスには立派な飾り羽が伸びます。

【当園のインドクジャク】 当園のクジャクは、昭和 36 年より園内にて放し飼いされ今回の繁殖により合計 50 羽となりました。園内では、3 羽の雛を連れた親子が 2 組、2 羽の雛を連れた親子が 1 組、1 羽の雛を連れた親子が 4 組、バードパラダイスでは 1 羽の雛を連れた親子を 1 組確認しております。

【最近のインドクジャクの雛の様子】 日中、暑さをしのぎ外敵から身を守るため、茂みに身を潜めていることが多いのですが、15 時 30 分から 16 時 30 分頃の餌の時間には親鳥について歩く姿を見られる確率が高くなります。



＜場所＞ バードパラダイス

アカツクシガモ

- 【英 名】Ruddy shelduck 【学 名】*Tadorna ferruginea*
 【分 類】カモ目カモ科ツクシガモ属
 【分 布】ユーラシア大陸中部
 【形 態】体長：約 63～66cm、体重：約 1.5kg
 【生 態】ユーラシア大陸中部で繁殖し、冬になると越冬のためアフリカ大陸北部、南アジア、まれに日本に飛来します。雑食性の大型のカモで、全体は鮮やかなオレンジ色、頭部はやや淡色です。雌雄ほぼ同色ですが、夏期の雄は黒い頸輪(首輪状の模様)が入ります。地面や樹木に空いた穴や岩の隙間などに巣を作り、1 度に 8～10 個ほどの卵を産み、孵化までは 27～29 日ほどかかります。

【当園のアカツクシガモ】今回 1 組のペアに 6 羽の雛が誕生したことにより、合計 25 羽となりました。

【最近のアカツクシガモの赤ちゃんの様子】子育てに専念させるため、一部の雛は母親とともに非公開エリアにて育雛を行っており、一緒に行動しています。餌を与えると親子仲良く採食します。移動するときも母親の後を一生懸命ついて歩いています。



＜場所＞ アニマルポート沿岸 カピバラ展示場

カピバラ

- 【英 名】Capybara 【学 名】*Hydrochoerus hydrochaeris*
 【分 類】げっ歯目 テンジクネズミ科
 【分 布】南米アンデス山脈の東側・水辺近くの茂みや林に住む
 【形 態】体長：100～130cm、体重：35～65kg
 【生 態】体は頑丈で長くて荒い毛がまばらに生えています。20～30 頭の群れで水辺近くの草原に住み、泳ぎや潜水が得意で四肢の指に小さな水かきがあり、尾はほとんどありません。食性は草食性で、当園ではキャベツ・さつまいも・にんじん・りんご・青草・乾草・草食動物用固形飼料などを与えています。妊娠期間は約 5 ヶ月、一度の出産で 1～8 頭が生まれます。赤ちゃんは生後 2～3 日で草やキャベツなどを囓りはじめ、授乳は 1 日 4～8 回、3 ヶ月程で離乳をします。寿命は野生では約 8～10 年です

【当園のカピバラ】2020 年 7 月 5 日(日)に、父「ワカバ」(3 才)と母「チーズ」(2 才)の間に 1 頭の赤ちゃんが誕生しました。当園のカピバラは、この他に「カピバラの露天風呂展示場」に 5 頭、「カピバラ虹の広場」に 15 頭が暮らしており、今回の繁殖により合計 28 頭となりました。

【最近のカピバラの赤ちゃんの様子】母親や他の個体の真似をして、いろいろなことを覚えている様子が見られます。

伊豆シャボテン動物公園

通常営業時間：〈3 月～10 月〉9:00～17:00、〈11 月～2 月〉9:00～16:00
 入園料金：中学生以上 2,400 円、小学生 1,200 円、幼児(4 歳以上)400 円、年中無休

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13
 TEL:0557-51-1111(代) URL:<https://izushaboten.com/>